



# ハッピーミルク プロジェクト 2023年度寄付金 贈呈式を開催しました



© CIV/NUTRITION/FrankDejongh/

コープデリグループでは、牛乳の売り上げの一部をユニセフに寄付し、アフリカの子どもたちの栄養改善プログラムを支援しています。

### 宅配では募金も受け付けています

OCR 注文書やコープデリeフレズ、アプリなどで下記の申込番号とご希望の口数をご記入ください

1口100円	286702	1口10ポイント	287059
1口1,000円	286711	1口100ポイント	287067
		全ポイント (数量欄に1と記入)	287075

※1ポイント=1円。お預かりした募金は「寄付金控除」の対象にはなりません。

2023年度の寄付金額は、とちぎコープを含む

コープデリグループ全体で**1,959万9,820円**です。

ご利用いただいた牛乳の本数は**7,283万9,803本**でした。

募金による支援は**503万1,859円**をお寄せいただきました。

たくさんのご協力、ありがとうございました。



### 6月12日に開催された 「とちぎコープ第35回通常総代会」において 2023年度の寄付金贈呈式を行いました

コープデリグループを代表して  
とちぎコープ塚原理事長(右)より  
日本ユニセフ協会 海老原様(左)へ目録をお渡ししました。



## 公益財団法人日本ユニセフ協会 団体・企業事業部 部長 海老原隆一様より 寄付金の使途に関する ご報告と謝辞をいただきました



本日はハッピーミルクプロジェクト寄付金贈呈式にお招きくださり、また、日頃より皆様からご協力いただいていることに深く感謝申し上げます。ハッピーミルクに加え、ユニセフ募金、ガザ人道危機 緊急募金などにもご協力くださり、重ねて御礼申し上げます。

ハッピーミルクプロジェクトを通じていただいた寄付金は、2種類の栄養支援に使われています。「コートジボワール指定募金」と「アフリカ栄養危機緊急募金」です。コートジボワールの方は、子どもが慢性栄養不良にならないようにする支援です。慢性栄養不良の怖いところは、見た目で見えないこと、治す方法がないこと。そして、赤ちゃんがおなかの中にいる時から2歳の誕生日を迎えるまでの1000日間は脳が発達する時期なので、栄養が慢性的に不足すると、その子の一生に影を落としてしまうということです。治療方法がないのですから予防するしかありません。1000日間で子どもにしっかりと栄養を与えられるように、母親に、妊娠中の食事や出産後の母乳・食事の与え方などを知ってもらい、実行してもらう。そういった取り組みが行われています。



© UNICEF/UN0649964/Dejongh/

アフリカ栄養危機緊急募金は、急性栄養不良の治療に活用されています。武力紛争や干ばつ・洪水といった気候変動の影響で、急に栄養がとれなくなって栄養不良になってしまいます。皆様も報道写真でご覧になったことがあるかと思いますが、お腹がブクッとふくれる症状になります。こちらは治す方法があり、緊急栄養治療食(1袋60円ぐらい)を処方することによって命を守ることができます。どうやってそういう子どもを見つけるかというと、専用のメジャーを使っています。上腕に巻いて測り、メモリの矢印が緑ならOKですが、腕が細いと黄色や赤を示します。赤いレベルはコーヒーに添えるミルクのフタぐらいの細さです。急性栄養不良とすぐわかりますので治療します。そのような状況にある子どもたちを皆様の支援で救っているということです。

ハッピーミルクプロジェクトは、生協さんの牛乳を飲んでいただくという比較的取り組みやすい支援だと思えます。こういった子どもたちの命と健康を守るために、引き続きよろしくお願ひいたします。本日はどうもありがとうございました。

